

**目的** 主に水中の鉱物油及び動植物性油脂類の定量、またはヘキサンに抽出された揮発しにくい物質の量

**対象** 洗浄剤、廃水、水溶性切削油など

**分析項目** ノルマルヘキサン抽出物質

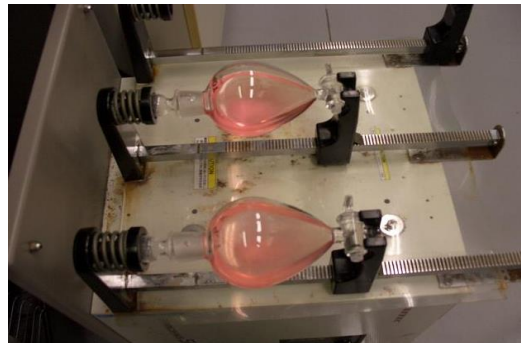
**試験概要** pH4以下の塩酸酸性条件において、試料に規定量のヘキサンを加え、振とう（混和）し、約80℃付近でヘキサンを揮発させ、その残量からの抽出量を算出する。

① 試料採取



コニカルビーカーに適量採取します。（乾燥後の重量が5～500mgになるように調整）  
清浄な資料だと、最大 1 L使用します。

② 振とう（混和）



塩酸酸性下でヘキサンを加え、振とうする。  
静置後、ヘキサン層を抽出し、水層へ再びヘキサンを加え、振とうする。  
静置後、ヘキサン層を抽出し、先ほどのヘキサンと合わせる。

③ 残留物の測定

容器中のヘキサンを蒸発させ、放冷後に残留物の物質量を測定し、抽出物の測定をします。

$$P = (A - B) * 1000 / V$$

P : ヘキサン抽出物質の濃度 (mg/L)

A : 抽出物と容器の重量 (mg)

B : 空容器の重量 (mg)

V : 試料量 (ml)

